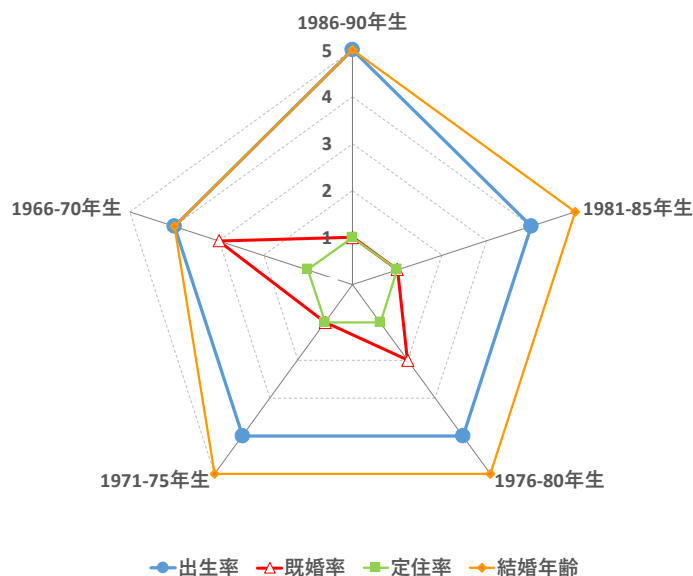


(24) 阿賀町

① 出生に関する総合評価

図24-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

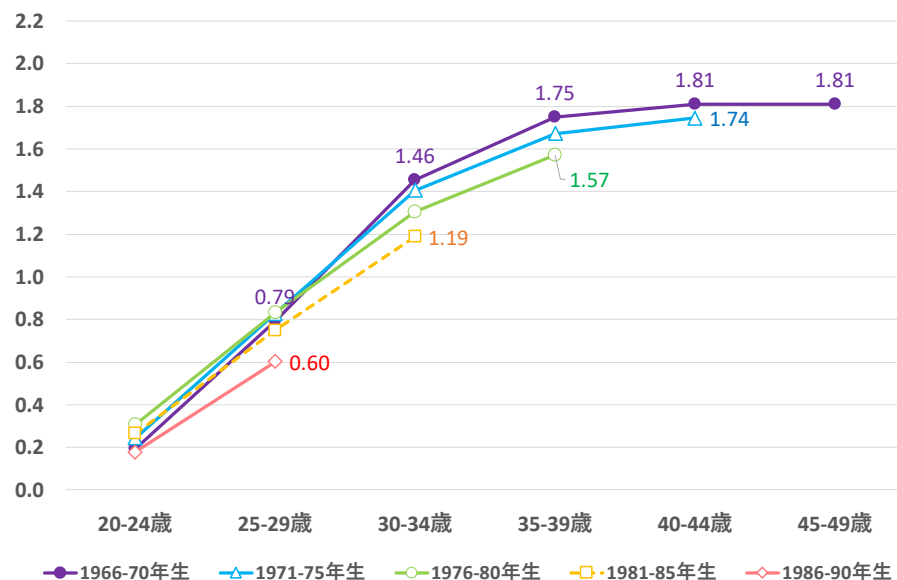
1. 合計出生率は、1966-70年生まれから1981-85年生まれまでは上位であるが、1986-90年生まれは最上位である。
2. 女性既婚率は、1971-75年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは最下位であるが、1976-80年生まれは下位、1966-70年生まれは中位である。
3. 女性定住率は、すべてのコホートで最下位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれは上位であるが、1971-75年生まれから1986-90年生まれまでは最上位である。

【総合評価】

1. 阿賀町は、女性定住率が全コホートで最下位、女性既婚率は中位から最下位であり、これらが特に低い。他方、結婚年齢は全コホートで上位以上であり、1970年代生まれ以降はすべて最上位である。結婚年齢が最上位であることから、合計出生率は全コホートで上位以上に属している。
2. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半生まれから1人を下回っている。1980年代生まれでは25-29歳時点の既婚率が1970年代生まれよりも大きく低下していることから、20歳代後半の出生率が特に低下している。今後、25-34歳の出生率を回復できるかは、30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。
3. 25-29歳以降の女性定住率は1980年代生まれのコホートで0-4歳時点の40%台であり、これが回復しなければ、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

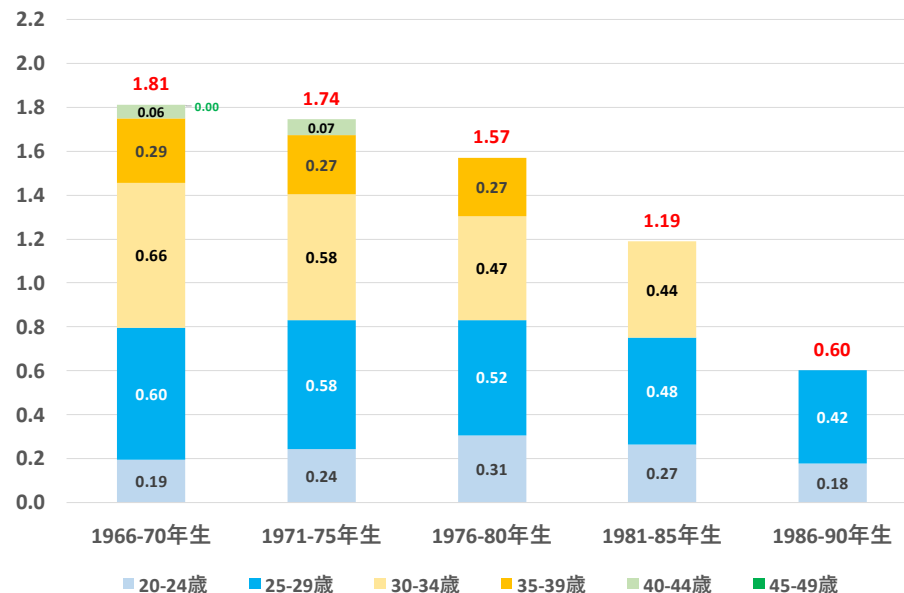
図 24-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 24-2 は、阿賀町のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と異なり、30-34 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の低下がみられる。
- ・ 1981-85 年生まれ以降のコホートでは 25-29 歳以降の合計出生率がさらに大きく低下している。

図 24-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

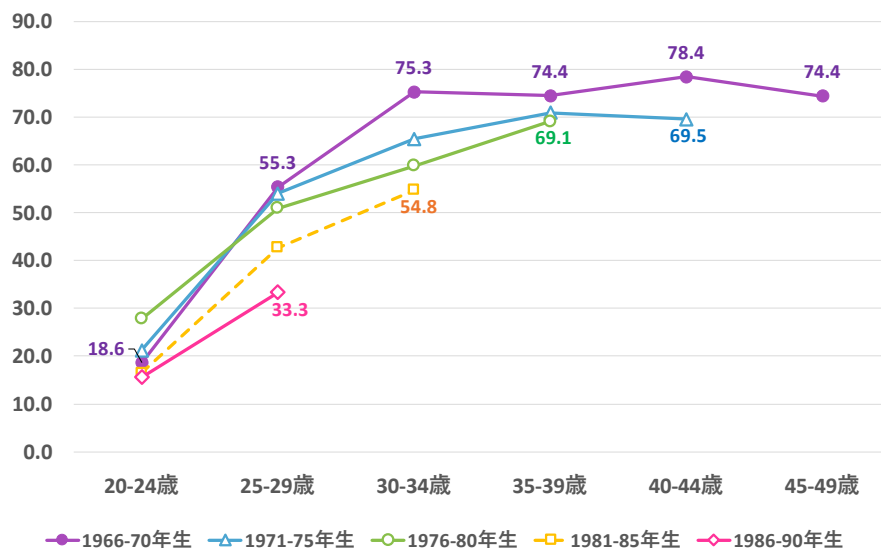


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 24-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.79 人に対して、1986-90 年生まれは 0.60 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.95 人に対して、1976-80 年生まれは 0.74 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.92 人に減少した。

③コホート別既婚率

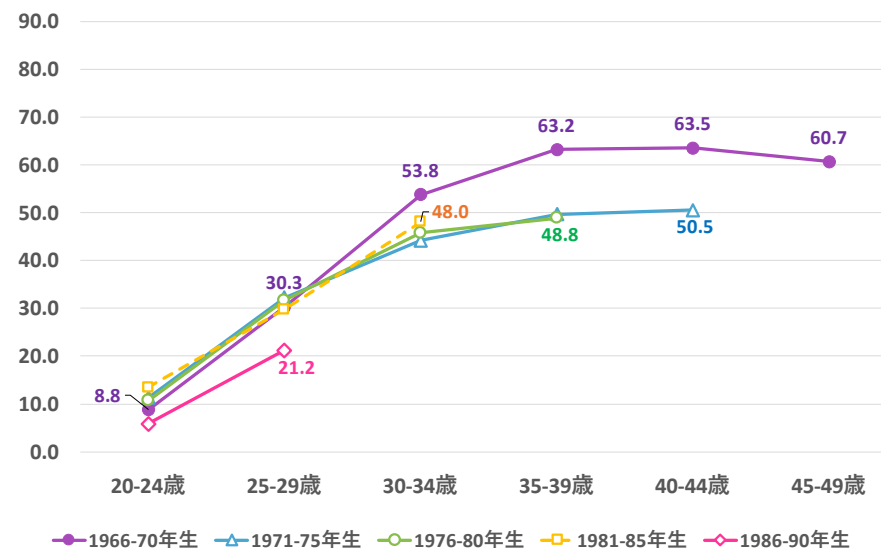
図 24-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 24-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 55.3%から 1986-90 年生まれの 33.3%へと 22.0 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 74.4%から 1976-80 年生まれの 69.1%へと 5.3 ポイント低下している。

図 24-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

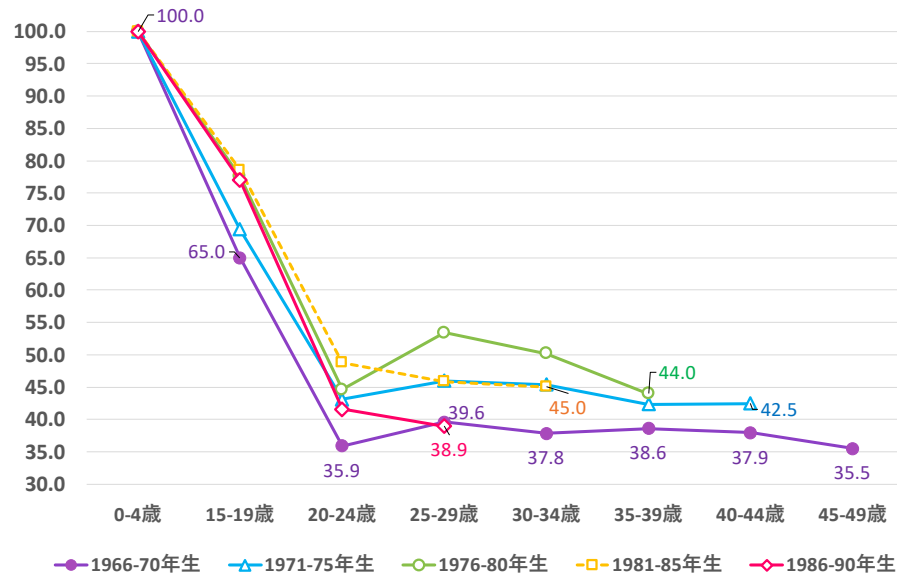


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 24-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 30.3%から 1986-90 年生まれは 21.2%へと 9.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 63.2%から 1976-80 年生まれは 48.8%と 14.4 ポイント低下している。
- ・ 25-29 歳における 1986-90 年生まれの既婚率が 21.2%と特に低い。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台前半に達するが、男性は 50%から 60%に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 24-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

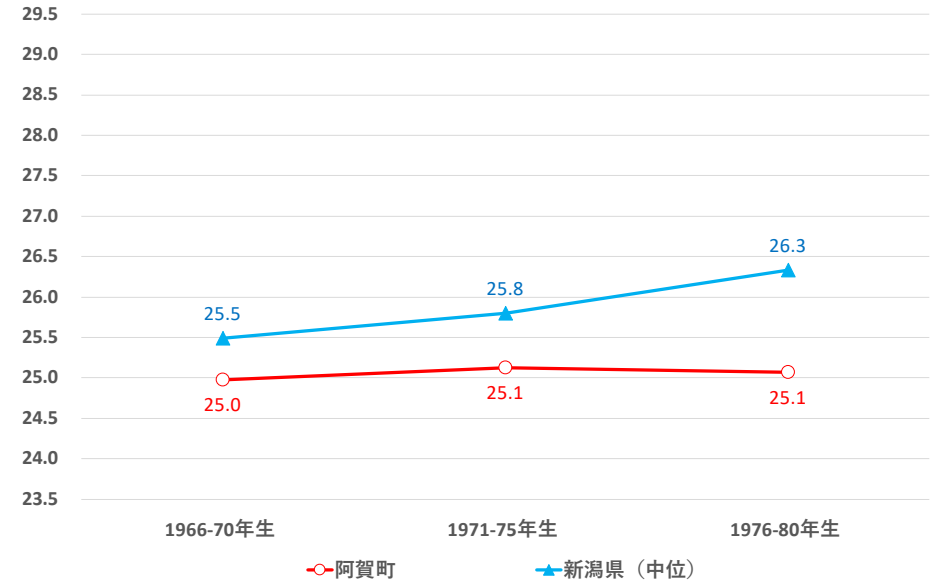


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 24-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの39.6から1986-90年生まれは38.9に0.7ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの38.6から1976-80年生まれは44.0に5.4ポイント増加している。
- ・ 阿賀町では、25-39歳時でみると、1986-90年生まれを除き、1970年代生まれ以降の定住率は1966-70年生まれより上昇している。しかし、ほとんどのコホートで、0-4歳時点の30-40%台に減少する状況が続いている。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 24-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

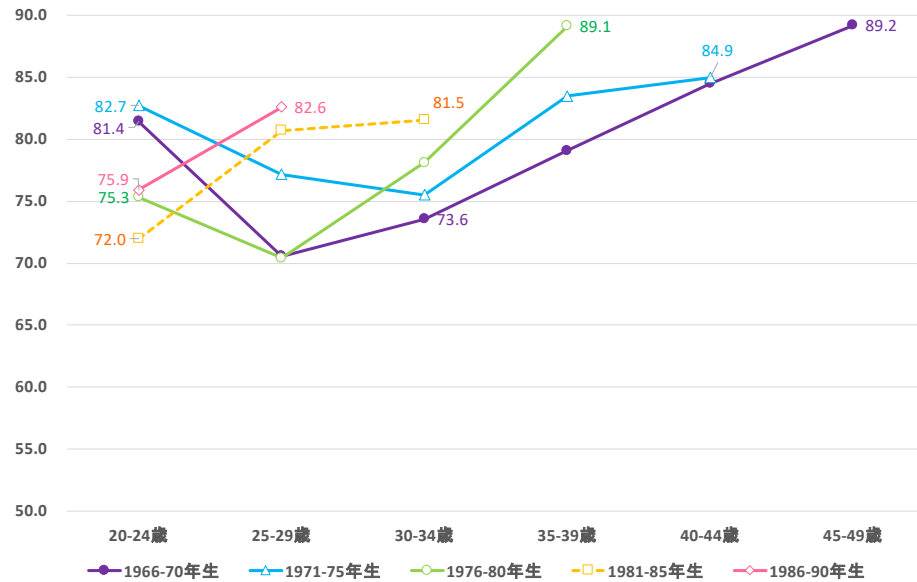


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 24-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.0歳、25.1歳、25.1歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.1歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は4位、1971-75年生の県内順位は6位、1976-80年生は2位と平均結婚年齢が県内で最も早い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 24-8 コホート別女性就業率 単位：%

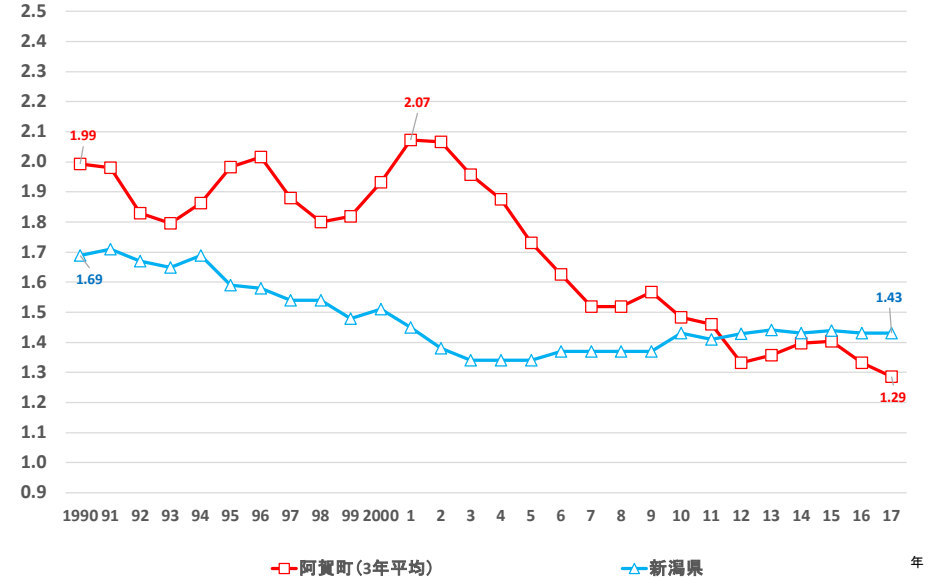


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 24-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1981-85 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートは上昇しているのに対し、それ以外のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると、1966-70 年生まれは 73.6%であったのに対して、1981-85 年生まれは 81.5%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 25-29 歳から 30-34 歳時点での M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 24-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 24-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と阿賀町（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990-2011 年は阿賀町の期間合計特殊出生率は新潟県平均より高い値をとっているが、2012 年以降は新潟県平均を下回っている。期間平均では 0.23 ポイント高い。
- ・ 阿賀町の期間合計特殊出生率は、2001-02 年の 2.07 から低下し、2017 年には 1.29 まで大きく下がっている。